



農村生活文化伝承活動をすすめる会

【豊富町】

はじまりは？

昭和59年に高齢者の能力活用を目的とした「農村高齢者役割向上事業」を受け、町内高齢者が生活誌の編さんや農村環境整備などに取り組みました。

さらに昭和60年からは昔ながらの農村の文化の良いところを広く伝える事を目的に、農産物や手工芸品などを展示する「農村生活文化伝承展」の定期的な開催を開始しました。

平成4年にイタダリの加工に着手したことを契機に「農村生活文化伝承展」の開催メンバーでもあった酪農家の女性達が、自分たちの生きがいと農家の知恵を後に続く世代へと繋げていくために、現在の会を設立しました。



イタダリの収穫・下処理・塩蔵の様子

おもな活動



伝承展での商品説明の様子

町内幼稚園児や保育所児童の母親からの要請で地域食材を活用した料理教室を開催したり、「北宗谷農協青年部のビール祭り」での加工品販売、「農村生活文化伝承展」でのイタダリ加工品や漬け物販売など、食を中心とした地域農村生活の特性を次世代へ伝承（地域文化の情報発信）する活動を展開しています。

また、都市住民（札幌の親子）を対象にしたコンビニエンスチェーン主催の「農村体験ツアー」と連携して、地元食材による昼食の提供、イタダリの加工品の試食、牛乳豆腐の試作支援などを通して「人の交流」をサポートし、都市住民に高評価を受けています。

ここが自慢

【食文化の次世代へ伝承】

発足以来20年以上もの長きにわたって漬け物講習会、牛乳料理実演、地元産の伝統加工食品の普及など地道な活動を継続。さらに伝統を守り伝えるだけでなく、常に新しい情報を求めて様々な研修活動も行っています。

それらの活動を通じて地域住民と交流を重ねてきたことが、信頼と期待となって町民に浸透、支持されおり、メンバーの「生きがい」となっています。

また、オリジナルキャラクターの手作りイタダリ坊やワッペンやピンクエプロンをユニホームとし、会員たち自身も活動を楽しんでいます。



お揃いのピンクエプロンを着て

データ

■代表者：太田 アサ子／設立：1992年／会員：13名

■連絡先：天塩郡豊富町字豊富大通り1丁目 宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所内

■電話：0162-82-2119

■FAX：0162-82-1970